

方針	施策	評価指標	目標値と各年度の実績値	現状	令和6年度の実施方針																		
1 安全性の向上	民間事業者等と連携した保険加入の広報・啓発	①自転車保険加入割合	<table><caption>①自転車保険加入割合</caption><thead><tr><th>年度</th><th>割合</th><th>サンプル数 (n)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H31年度</td><td>53.2%</td><td>831</td></tr><tr><td>R2年度</td><td>76.4%</td><td>122</td></tr><tr><td>R3年度</td><td>77.2%</td><td>127</td></tr><tr><td>R4年度</td><td>72.7%</td><td>1084</td></tr><tr><td>R5年度</td><td>73.2%</td><td>885</td></tr></tbody></table>	年度	割合	サンプル数 (n)	H31年度	53.2%	831	R2年度	76.4%	122	R3年度	77.2%	127	R4年度	72.7%	1084	R5年度	73.2%	885	市役所窓口等で自転車保険の加入義務化を周知している。駐輪場利用者へのアンケート調査によると、保険加入割合は令和3年度までは増加しているが、4年度と5年度は3年度に比べて減少している。	引き続き、さまざまな媒体で周知し、目標値の達成を目指す。
	年度	割合	サンプル数 (n)																				
H31年度	53.2%	831																					
R2年度	76.4%	122																					
R3年度	77.2%	127																					
R4年度	72.7%	1084																					
R5年度	73.2%	885																					
	高齢者向けの自転車安全教育 企業における自転車安全教育	②安全教育受講経験者割合	<table><caption>②安全教育受講経験者割合</caption><thead><tr><th>年度</th><th>割合</th><th>サンプル数 (n)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H31年度</td><td>52.2%</td><td>831</td></tr><tr><td>R2年度</td><td>70.5%</td><td>122</td></tr><tr><td>R3年度</td><td>70.9%</td><td>127</td></tr><tr><td>R4年度</td><td>57.5%</td><td>1084</td></tr><tr><td>R5年度</td><td>59.0%</td><td>885</td></tr></tbody></table>	年度	割合	サンプル数 (n)	H31年度	52.2%	831	R2年度	70.5%	122	R3年度	70.9%	127	R4年度	57.5%	1084	R5年度	59.0%	885	駐輪場利用者へのアンケート調査によると、受講経験者割合は令和3年度までは増加し、目標値を達成していたが、4年度と5年度は3年度に比べて減少している。	令和2年度から5年度までの4年間での平均では目標値を達成しているが、引き続き、施策を着実に実施し、数値の向上を目指す。
年度	割合	サンプル数 (n)																					
H31年度	52.2%	831																					
R2年度	70.5%	122																					
R3年度	70.9%	127																					
R4年度	57.5%	1084																					
R5年度	59.0%	885																					
2 快適性の向上	駐輪環境の快適性向上	③思いやりエリア設置施設数	<table><caption>③思いやりエリア設置施設数</caption><thead><tr><th>年度</th><th>施設数</th><th>サンプル数 (n)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H31年度</td><td>10</td><td>23</td></tr><tr><td>R2年度</td><td>10</td><td>23</td></tr><tr><td>R3年度</td><td>11</td><td>24</td></tr><tr><td>R4年度</td><td>12</td><td>24</td></tr><tr><td>R5年度</td><td>11</td><td>24</td></tr></tbody></table>	年度	施設数	サンプル数 (n)	H31年度	10	23	R2年度	10	23	R3年度	11	24	R4年度	12	24	R5年度	11	24	令和5年度で見ると、残り 13 施設のうち、8施設については、利用率が高くないことから、思いやりエリアを設置しなくても十分に止めやすい状態である。また、5施設については、満車になりやすいことや、ラック等の既存設備の対応等が課題となり、すぐの設置は難しい状態である。	目標値は計画策定時における全有料駐輪場の施設数であるが、駐輪場利用の状況から見ると、既設置施設と合わせて約8割(19施設/24施設)の施設で快適性の向上が図られている。引き続き、利用状況等を見ながら、設置施設数の増加を目指す。
		年度	施設数	サンプル数 (n)																			
H31年度	10	23																					
R2年度	10	23																					
R3年度	11	24																					
R4年度	12	24																					
R5年度	11	24																					
④定期利用抽選倍率(抽選対象施設平均)	<table><caption>④定期利用抽選倍率 (倍数)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>倍率</th></tr></thead><tbody><tr><td>H31年度</td><td>4.0</td></tr><tr><td>R2年度</td><td>1.9</td></tr><tr><td>R3年度</td><td>2.2</td></tr><tr><td>R4年度</td><td>2.2</td></tr><tr><td>R5年度</td><td>2.1</td></tr></tbody></table>	年度	倍率	H31年度	4.0	R2年度	1.9	R3年度	2.2	R4年度	2.2	R5年度	2.1	・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類となり、行動抑制の緩和等に伴う人流の増加傾向に比例する形で、市内全体の駐輪台数と定期利用抽選倍率も増加傾向となっている。 ・令和2年 10 月の曙町一丁目東臨時有料自転車駐車場の定期利用専用化が抽選倍率の減少に繋がった。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うテレワーク等の普及により、令和2年度以降、目標値を達成しているが、ウィズコロナの中での今後の定期需要について引き続き、注視していく。								
年度	倍率																						
H31年度	4.0																						
R2年度	1.9																						
R3年度	2.2																						
R4年度	2.2																						
R5年度	2.1																						
	多様な自転車が利用しやすい環境整備	⑤多様な自転車が利用しやすい環境整備の実施	—	駐輪場の利用状況や利用者からの意見を参考に、北口第三有料自転車等駐車場にて、令和3年度にスタンド無し自転車用のサイクルスタンドを、令和4年度に施設への施錠が可能なエリアを試験的に設置した。	引き続き、自転車の利用状況を注視するとともに、利用者からの意見を参考にしながらニーズに対応可能な施設を増やすなど、多様な自転車が利用しやすい環境を整備していく。																		
	自転車撤去の実施と今後のあり方に関する検討	⑥市内放置自転車台数(10月のうち任意の晴天の1日 午前11時の放置自転車台数)	<table><caption>⑥市内放置自転車台数 (台数)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>台数</th><th>サンプル数 (n)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H31年度</td><td>238</td><td>13005</td></tr><tr><td>R2年度</td><td>131</td><td>11165</td></tr><tr><td>R3年度</td><td>50</td><td>12298</td></tr><tr><td>R4年度</td><td>67</td><td>13339</td></tr><tr><td>R5年度</td><td>50</td><td>13623</td></tr></tbody></table>	年度	台数	サンプル数 (n)	H31年度	238	13005	R2年度	131	11165	R3年度	50	12298	R4年度	67	13339	R5年度	50	13623	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類となり、行動抑制の緩和等に伴う人流の増加傾向が見られているものの、放置自転車台数はコロナ禍前に比べて大幅に減少した。	令和3年度以降、目標値を達成しているが、ウィズコロナの中での今後の放置状況について引き続き、注視していく。
年度	台数	サンプル数 (n)																					
H31年度	238	13005																					
R2年度	131	11165																					
R3年度	50	12298																					
R4年度	67	13339																					
R5年度	50	13623																					
3 新たな価値の付加	商業・観光関係者等と連携したシェアサイクル導入検討	⑦シェアサイクルの実施	—	令和3年度に運営事業者の公募及び選定並びに運営事業者と協定を締結したうえで、4年度より3年間の実証実験を開始し、5年度には多摩地域7市で広域連携事業を実施した。	公共交通機能の補完等の検証を目的とした実証実験について、ステーション数を着実に増やしていくなど、利便性の向上を図りながら、実証実験を総括する。																		
	健康づくり関連事業と連携した周知、啓発	⑧健康づくり関連事業と連携した周知、啓発の実施	—	市広報で自転車利用による健康増進を周知している一方で、健康づくり関連事業との連携が課題である。	引き続き、さまざまな媒体で情報を周知するとともに、健康づくり関連事業との連携実施を進める。																		